

大和郡山 防災ニュース 29. 7月

このニュースは、市内で防災に関わる住民の皆さんに、様々な取組や防災情報を提供します。

市内自主防災組織巡り 城ヶ丘自主防災会会長にお話を伺いました！

今月は、矢田地区で活動中の城ヶ丘自主防災会の眞方会長及び副田様にお話を伺いました。

～平成29年出初式場におそろいのウインドブレーカーでご出席！～

城ヶ丘自主防災会の母体である城ヶ丘自治会は、本市北部の丘陵地で郡山の中心地から西に約2 kmに位置する、世帯数300戸余、人口約880人の住宅街です。

城ヶ丘自主防災会と言えば、出初式が印象的でした。今年は初めて出初式に市内自主防災組織の皆さんをご招待したのですが、おそろいのオレンジのウインドブレーカーにヘルメットを着用し意気揚々として団結力を感じさせる10名余の集団が登場！それが城ヶ丘自主防災会のメンバーでした。

～災害想定を地震に絞り平成18年から活動開始！～

城ヶ丘では、従来自治会の下で子供会と城友会（高齢者）と住宅問題（地区計画）委員会が活動していました。そんな中、災害時に被災者を出さないための近隣同士で助け合いのできる楽しい地域づくりにも取り組んでいこうという気運が高まり、やるなら年ごとに替わる役員でなく継続的に続けられるメンバーでということで、平成18年に7名が他の防災先進地区を見学するなど研究を開始し、平成20年正式に自主防災会が発足しました。なお、想定災害については「城ヶ丘は丘陵地であり、近くを流れる富雄川とは高低差があり、大きな水害は考えにくいし、火事は怖いものの町並みにゆとりがあるので延焼による大きな火事も可能性が低い」ということで地震を中心に検討を進めてこられました。当初は、おなじみの「奈良は都だったのだから大地震は起きない」という理論の方もおられて、活動はなかなか盛り上がりませんでした。

～「防災は一步ずつ」の信念で活動を続ける～

この空気を変えたのが、平成24年に応募した「赤い羽根共同募金防災活動支援事業」の採択でした。これは支援事業から30万円の補助を得て、住宅内の公園に防災倉庫を建てようというものでしたが、これに思いもかけない障害が立ちはだかります。ユニット式倉庫を建てるにも建築確認に加え、開発申請まで必要だということなのです。申請には専門知識が必要でその委託には費用がかかります。更に建築敷地である2000㎡の公園の図面など測量してつくとそれだけで大きな金額になってしまいます。そんな中、地元では既存の図面で使えるものを探し申請自体のコストをできるだけ抑えるだけでなく、建物の基礎建築を住民の手づくりで進めようという動きが始まり

ました。知り合いの業者さんに鉄筋の加工だけ依頼して、現場では住民が自ら汗を流す。このことで住民の意識は盛り上がり、防災への理解も高まったそうです。

～要支援者対策も個人毎に決定し意識づけ！～

災害時の要支援者対策については、毎年8～9月に班毎に各戸調査を行い、その中で災害時の支援を求められた方（要支援者）については、改めて自主防災会でこれら要支援者と支援する側の方々の双方を戸別訪問し、相互の了承のもとで個人毎に支援体制を決めています。更に、助ける人、助けられる人双方に、それぞれの氏名を記入したA4のカードを配布して、日常からの意識づけを心がけており、このことで災害時の支援体制が普段から顔の見える体制となるわけです。

～備蓄食料・避難所運営は自主が原則！～

城ヶ丘では、各戸毎の食料、飲料備蓄についても啓発していますが、普段食べない食料品や飲料水を押入れの奥に保存しておくのではなく、例えば、インスタントラーメンの買い置きを常に多めにしておいて、早めに買い足すことで実質的な家庭内備蓄を持つなど、実生活に即した防災を推奨しています。また「災害時に避難所に行けば行政が何とかしてくれる」というのは誤解で、避難所は自主運営が原則ということで、毎年自治会役員、班長さんに避難所運営の勉強会をお願いしているとのことでした。

～地道に続けられる防災啓発活動～

また、毎年7月に消防署を呼んで心肺蘇生訓練や防災講習会を開催し、毎回数十人が参加されています。更に、秋には地元対策本部を設置し、避難や傷病者救護・炊きだしなどテーマを決めた訓練を行っており、参加者は毎回200人を越えています。加えて毎月の自治会ニュースと一緒に防災ニュースも回覧しているとのことで、毎号交代で自主防災会役員が防災知識の啓発記事を編集発行し続けておられます。住民の結束力と地道な努力、これらが今後も城ヶ丘の防災事業を支えていくのではと感じました。

編集後記

地元の防災意識を盛り上げた防災倉庫の建築、実は市役所へも、何とか開発手続の省略など特段措置できないかと相談や要望をしておられたそうですが、法定案件とはいえ、お力になれなかった部分も多かったと聞きます。申し訳ないことです。防災でご苦労いただいている市民の皆様にはお世話をおかけしますが何とぞよろしくお願ひします。

大和郡山防災ニュースは、市のHPでもご覧になれます

[大和郡山防災ニュース](#)

↗

消防団のニュースは、『大和郡山市消防団へようこそ!』をご覧ください!

[大和郡山市消防団へようこそ](#)

↗

発行人 市役所市民安全課